

舞台の「魔法」にかかったみたい

人気の2作品を読者が観劇

大阪四季劇場で鑑賞後「今度は女友達でも来てほしい」という竹下さん(右)の笑顔



母娘で鑑賞 ウィキッド

女同士の友情を思っ
泣けました

『オズの魔法使い』のサ
イドストーリーと聞いて
も、ピンと来なくて…と
は『ウィキッド』鑑賞前
の竹下千尋さん。お母さま
千津子さんとの観劇後は
「イメージをはるかに超え
た世界でした。女同士の友
情や生き方を考えさせられ
る、オトナの作品ですね
と感涙するまでに。」
「ウィキッド」邪悪な
というタイトルが示すの
は、悪い魔女「エルファバ
の誕生にまつわる秘密。良
い魔女「グリンダ」と出会
い、反発しながらも親友と
なるまでの二人の成長の姿
に胸を打たれます。」
「外見を着飾って自分の
役割を演じるグリンダ、全
員を敵にしても信念を曲げ
ないエルファバ。女性とし
て共感する部分が多岐に
もあり、友人を思い浮かべ
て見ていると、泣けてきて
…と千尋さん。千津子さ
んは「キャストも素晴らしい。
ダイレクトにエネルギー
が伝わってきました。」
「母と見れば愛情を、友
人と見れば友情を感じるよ
うに、幅広い可能性を秘め
た舞台。絶対もう一度見に
来たいね」と千尋さんと
二人とも、すっかり舞台の
魔法にかかっていたよ
うです。

ついに来年5月9日(日)に千秋楽が決定した『美女と野獣』と、『オズの魔法使い』のもう一つの物語を描いた『ウィキッド』を上演中の劇団四季。なじみのあるストーリーで、舞台は初めてという観客の心もとらえて離さない2作品を、シテイ読者の竹下千尋さん(31歳/行政)母娘と、熊田裕美子さん(28歳/メーカー)夫婦が鑑賞しました。劇場に足を踏み入れた2組が感じたものは?

ストーリー&見どころ

緑色に輝く肌と魔力を持った少女・エルファバは、人気者のグリンダとルームメイトに。反発し合いながらも親友となった二人は、オズ陛下に会いに、エメラルドシティへ向かいます。しかし、彼の陰謀を知ったエルファバは、戦うことを決意。『悪い魔女』のレッテルを貼られたエルファバと、『魔法使い』側に残る道を選ぶグリンダ。二人の運命の行方は…。「ブロードウェイ最大のヒット作」とも評される話題作。鮮やかなグリーン視覚効果も、心を揺さぶります。

カップルで鑑賞 美女と野獣

アニメを超えた
生の迫力にドキドキ

ディズニーの中でも、特
にプリンセス・キャラが好
きという熊田裕美子さん
は、「アニメ版も大好きな
ので、ミュージカルも楽し
みと期待を寄せます。一
方、夫の達郎さんは「ラブ
ストーリーものは彼女の
『専門分野』。今日は予習な
りで挑みます」と笑顔。
魔法の魔法によって醜い
野獣の姿に変えられた王子
と、美人で聡明なベル・ベ
ルとのロマンス…。ディズ
ニーと劇団四季がコラボした
舞台は、魔法をかける瞬間
の瞬間の仕掛けにはじま
り、絵本から抜け出たようなキ
ャラクターたちに、グイグ
イ引き込まれます。
「ハッピーエンドとわか
つていても、見入ってしまう
う。生で見るダンスや歌は
迫力がありますね」と、観
劇後、余韻に浸る二人。
『ピー・アフ・ケスト』
のシーン、まるでショー
のように。今まで見た四季の
中で一番ドキドキしまし
た」と裕美子さん。達郎さ
んも「純粋な気持ちになれ
ました。休憩時間にも、『あ
のキャラは○○みたいだ
ね』と彼女と盛り上がりた
い」と、ファンタジーのと
りに。純粋なラブストー
リーが、さらに二人を強く
結びつけたようでした。

ストーリー&見どころ

一輪のバラと引き換えに宿を乞おうと、城にやって来た老婆。優しさを知らない王子が断ると、老婆は魔法使いに変身して、彼を野獣に、召使いたちをモノに変えてしまいます。魔法を解くには、バラが散る前に愛し、愛される必要が。そんなある日、美しく聡明なベルが城に迷い込み、野獣はベルに思いを寄せますが…。1995年の初演以来、約345万人以上を楽しませてきた名作。心奪われる魅力的な歌とダンス、絢爛豪華な舞台装置、息をのむイリュージョンも注目です。千秋楽は5月9日(日)。見逃さないで!



京都劇場で終演後も興奮冷めやらぬ熊田さんカップル。感動屋の裕美子さんを見ているうちに達郎さんも影響されるようになったそう

スペシャル企画で楽しもう

■ 夢と魔法の新春マジカルキャンペーン

1月6日(水)～2月28日(日)の期間中に、『美女と野獣』『ウィキッド』の両方を鑑賞した人に、素敵なプレゼントが。各劇場で配布されるキャンペーンカードで引き換えを。

■ 『美女と野獣』リハーサル見学会

本番前の緊張感あふれるリハーサルを見学。対象公演は、3月2日(火)・30日(火)、4月6日(火)いずれも午後6時30分公演。観劇当日の午後3時45分～4時15分に、当日のチケット持参で参加受け付けを。
※詳細は問い合わせを。

産経新聞(大阪版)12/25朝刊も見てね!

産経新聞(大阪版)12月25日の朝刊でも、今回の鑑賞レポートを紹介!あわせてチェックしてね。

問い合わせ
劇団四季 関西公演本部 大阪オフィス
☎06(4796)6600